

第4期福岡県がん対策推進計画(案)のパブリックコメントについて

第4期福岡県がん対策推進計画(案)について、令和5年12月8日(金)～12月22日(金)にパブリックコメントを実施したところ、2件の意見があったため、以下のとおり回答を予定

分野	項目	意見内容	意見の理由	計画案修正の有無	県の対応
がん予防分野	がん検診の精度管理等について	がんの2次予防、特に精度管理への施策について、がん種ごとの特徴を踏まえた個別施策の記載をするのはどうか。また、既に実施している場合は、具体的な活動内容を記載していただきたい。	福岡県のがん種ごとの死亡率・罹患率において、厚労省が指針で検診を勧める5つのがんでも徐々にがん種ごとに差が拡大している事が見て取れます。多くは取組が功を奏して死亡率減少に転じておりますが、例えば大腸がんなどはがん種の中では課題であり、がん種ごとの対応策を示す事が必要になってきていると考えられる為。	有	市町村では、がん検診における各がん種の要精検率や陽性反応適中度等について、精度管理を行っており、こうした記載を追加いたします。 なお、本県では、これらの結果に基づき、市町村がん検診の担当者ヒアリングや研修会を通じ、必要な指導・助言等を行っています。 (参考:計画案P21)
がん医療分野	がん医療提供体制等	「がん医療の均てん化」の推進に向けた具体案を記載していただきたい。	福岡県では、がん診療連携拠点病院は福岡・糸島医療圏、北九州医療圏に固まっており、その他の地区では医療圏を超えた受診が求められていると考えている。今後、将来目線でこれらの提供体制がどのようなものになるのか、明示していただきたいと考えた為。	無	本県では、がん診療連携拠点病院等について、がん医療の受療動向を踏まえた上で、福岡・糸島医療圏、北九州医療圏以外にも、県内全体に24か所整備しており、がん医療の均てん化を図っています。引き続き、これらの取組を推進してまいります。 (参考:計画案P9～11)